

## 日本初記録のキタマクラ属の2種

松浦啓一<sup>1</sup>・吉野哲夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>169 東京都新宿区百人町3-23-1

国立科学博物館動物研究部

<sup>2</sup>903-01 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋学科

## First Records of Two Sharpnose Pufferfishes from Japan

Keiichi Matsuura<sup>1</sup> and Tetsuo Yoshino<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Department of Zoology, National Science Museum (Nat. Hist.), 3-23-1 Hyakunin-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 169, Japan

<sup>2</sup>Department of Marine Sciences, University of the Ryukyus, Nishihara, Okinawa 903-01, Japan

Two sharpnose pufferfishes, *Canthigaster epilampra* (Jenkins, 1903) and *C. ocellicincta* Allen et Randall, 1977, were collected from Okinawa-jima Island, Ryukyu Islands. One specimen each of these species was taken from relatively deep waters: the specimen of *C. epilampra* caught at a depth of 60 m and that of *C. ocellicincta* at a depth of 40 m. These specimens represent the first records of the two species from Japan. No significant morphological differences were found between the present specimens and those reported from elsewhere.

キタマクラ属魚類はフグ科に含まれる小型の魚類で、インド・太平洋と大西洋の熱帯域に生息している。本属の分類は Allen and Randall (1977) によって総括され、

22種がインド・太平洋に分布し、1種が大西洋に分布することが明らかにされた。その後、Lubbock and Allen (1979) が *C. leoparda* を西部太平洋とインド洋のクリスマス島から記載し、Matsuura (1986) は *C. flavoreticulata* をトンガ海嶺から記載した。また、Randall and Cea (1989) は東部太平洋のイースター島から *C. cyanetron* を記載した。したがって、キタマクラ属には26種が含まれることになる。

沖縄島の恩納村から本属魚類の *C. epilampra* (Jenkins, 1903) と *C. ocellicincta* Allen et Randall, 1977 の標本が1個体ずつ採集された。採集深度は多くのキタマクラ属魚類よりも深く、前者が水深40m、後者が60mから得られた。この2種が日本から記録されたのは初めてなので以下に報告する。標本の計測方法は Allen and Randall (1977) に従った。本報告に使用した標本は琉球大学理学部海洋学科 (URM: Department of Marine Sciences, University of the Ryukyus, Okinawa) に保存されている。

### *Canthigaster epilampra* (Jenkins, 1903)

モンキキンチャクフグ (新称)

(Fig. 1)

測定標本 URM-P 20960, 1個体、沖縄県沖縄島恩納村、水深60m、1989年4月16日、体長89.0mm。

記載 背鰭9軟条、臀鰭9軟条、胸鰭17軟条。体長は頭長の2.5倍、吻長の3.6倍、体高の2.6倍、背鰭前長の1.4倍、臀鰭前長の1.3倍、尾鰭長の3.4倍。頭長は体幅の1.5倍、眼径の4.4倍、骨性両眼間隔の3.3倍、眼後長

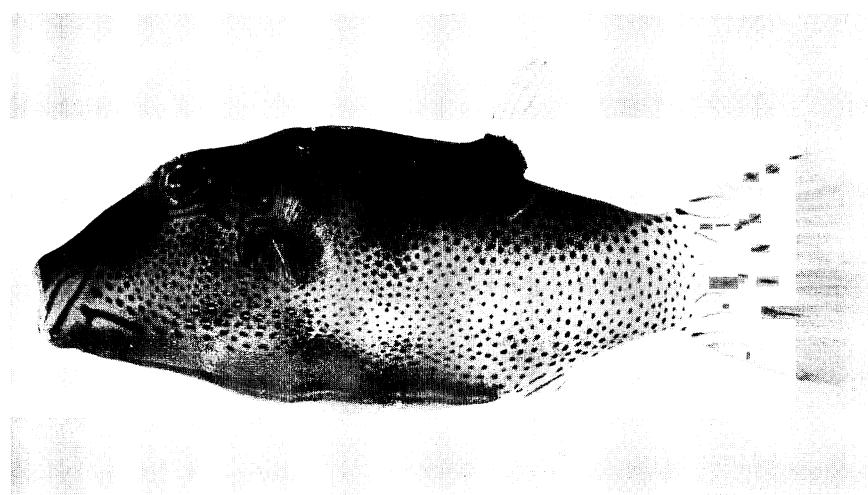
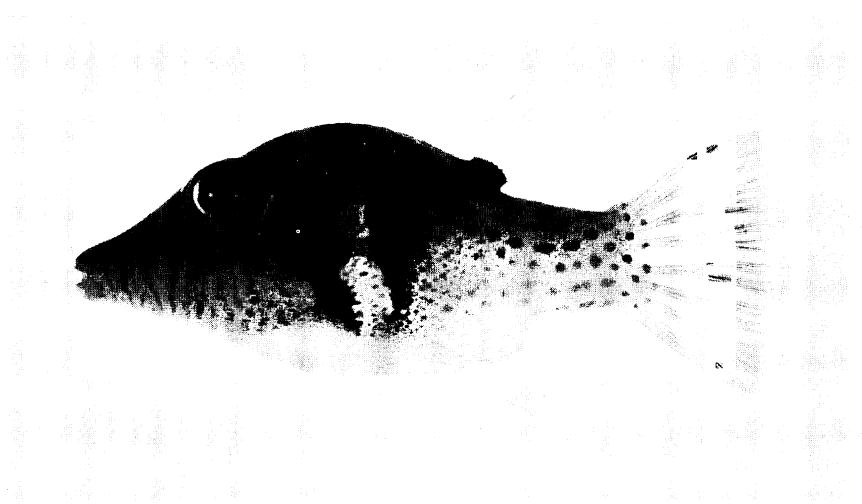


Fig. 1. *Canthigaster epilampra*, URM-P 20960, 89.0 mm SL, Ryukyu Islands.

Fig. 2. *Canthigaster ocellicincta*, URM-P 21246, 49.8 mm SL, Ryukyu Islands.

(眼の後腹縁と鰓孔上端の距離) の 4.3 倍, 最長背鰭軟条の 2.5 倍, 最長臀鰭軟条の 3.0 倍, 最長胸鰭軟条の 2.7 倍, 背鰭基底長の 5.1 倍, 臀鰭基底長の 5.5 倍, 尾柄高の 2.2 倍, 尾柄長の 1.7 倍。

体はやや延長し, 側扁する。背中線上と腹中線上に 1 皮褶があり, 背中線上の皮褶は鰓孔上方から背鰭起部へと走り, 腹中線上の皮褶は下顎下方から肛門まで走る。体は微少な小棘に覆われる。吻は比較的長く, 突出する。口は前端に位置し, 齒は癒合して歯板となり, 上顎と下顎にそれぞれ 2 枚ずつある。鰓孔は小さく, 裂孔状で, 胸鰭の直前にある。鼻孔は眼の前方に位置し, 非常に小さい。胸鰭は扁状。背鰭と臀鰭は小さく, やや円い。臀鰭は背鰭より後方に位置する。尾鰭は円い。

液浸標本では体は黄色味を帯びた淡褐色で, 多数の小褐色点に覆われる。吻と背鰭より前方の体背方は褐色。眼から 9 本の褐色線が放射状に広がり, 後下端の 1 本は鰓孔上方で小さな円形模様を形成する。眼の直下に 1 本の褐色線が縦走する。下顎の周囲に数本の褐色線が斜めに走る。腹中線上の皮褶は褐色。胸鰭, 背鰭および臀鰭は淡色。尾鰭はやや黄色味を帯びた淡色で, 尾鰭基部から後方へ数本の褐色線が尾鰭中央に向けて走る。

生時の体色は白く, 多数の小青色点に覆われる。吻と背鰭より前方の体背方は淡褐色。背鰭基部の周囲は暗褐色班に覆われる。眼の周囲は黄色で, 眼から淡青色線が放射状に走り, 後下端の 1 本は後方に延長して, 鰓孔上方にある黄色の小眼状斑を取り囲む。口の周辺から鰓孔にかけて淡黄色帶が走る。口の周囲には淡青色線が斜走する。胸鰭, 背鰭および臀鰭は透明。尾鰭は淡黄色で淡

青色線が縦走する。

**備考** 背鰭軟条数は Allen and Randall (1977) が調べた 15 個体ではすべて 10 本であったが, 沖縄から採集された標本では 9 本であった。しかし, 本標本は他の形質では Allen and Randall が調べた標本と差を示さなかった。したがって, 背鰭軟条数における差は個体変異と考えられる。本種は *C. rapaensis* に似るが, 後者では鮮黄色の尾鰭に多数の短い淡青色横線があり, 体が褐色である。また, 本種では背鰭軟条数が 9-10 本なのに対して, *C. rapaensis* では 10-11 本である。本種はパラオ諸島, ハワイ諸島, ソシエテ諸島, クック諸島, ソロモン諸島から知られており, 水深 25 m 以深に通常生息する (Allen and Randall, 1977)。

#### *Canthigaster ocellicincta* Allen et Randall, 1977

クマドリキンチャクフグ (新称)

(Fig. 2)

**測定標本** URM-P 21246, 1 個体, 沖縄県沖縄島恩納村, 水深 40 m, 1989 年 5 月 25 日, 体長 49.8 mm.

**記載** 背鰭 9 軟条, 臀鰭 9 軟条, 胸鰭 16 軟条。体長は頭長の 2.5 倍, 吻長の 3.7 倍, 体高の 2.5 倍, 背鰭前長の 1.3 倍, 臀鰭前長の 1.3 倍, 尾鰭長の 2.9 倍。頭長は体幅の 1.5 倍, 眼径の 3.8 倍, 骨性兩眼間隔の 3.2 倍, 眼後長の 5.8 倍, 最長背鰭軟条の 2.3 倍, 最長臀鰭軟条の 2.5 倍, 最長胸鰭軟条の 2.3 倍, 背鰭基底長の 5.1 倍, 臀鰭基底長の 5.8 倍, 尾柄高の 2.2 倍, 尾柄長の 1.7 倍。

形態的な特徴はモンキキンチャクフグと同様なので省略し, 色についてのみ記載する。

液浸標本では体は黄色味を帯びた淡褐色で、肛門より後方では多数の小褐色点と数本の不規則な短い褐色縦線に覆われる。体の中央部に2本の暗褐色横帶があり、前方の横帶は背中線から下方に延びて、胸鰓基部と鰓孔を通り、胸鰓基底の後下方で終わる。後方の横帶は背方の方方が幅広く、下方に向かって細くなる。2本の横帶の間の淡色部は横帶より明らかに狭い。吻と頭部には多数の不規則な暗褐色線が走る。これらの暗褐色線は眼の周囲では放射状の模様を形成し、両眼間隔域にも数本が横に走る。体の腹面は白い。背鰓基部は小暗褐色斑に覆われる。すべての鰓は淡色であるが、尾鰓の鰓条は淡褐色。

生時の体色は褐色で、腹方はやや白い。肛門より後方には多数の小淡青色点と数本の不規則な短い淡青色線がある。体の中央部には2本の暗褐色横帶が走り、前方の横帶の前縁は白色で、2本の横帶の間も白い。吻と頭部は赤褐色で、多数の不規則な淡青色線が走る。これらの淡青色線は眼の周囲で放射状模様を形成する。背鰓基部には暗褐色の眼状斑がある。すべての鰓は淡色であるが、尾鰓の鰓条は褐色。

**備考** 本種はシマキンチャクフグ *C. valentini* に似るが、尾柄背部に暗褐色帶がないこと、体中央部の2本の暗褐色横帶の間の淡色部が非常に細いことによって識別

される。本種はこれまでフィリピン、グレートバリアーフ、ニューカレドニア、ソロモン諸島およびフィジーから報告されている (Allen and Randall, 1977)。

#### 謝 辞

標本を採集していただいた辻井昌智氏に謝意を表する。

#### 引 用 文 献

- Allen, G. R. and J. E. Randall. 1977. Review of the sharpnose pufferfishes (subfamily Canthigasterinae) of the Indo-Pacific. Rec. Aust. Mus., 30(17): 475-517.  
Lubbock, R. and G. R. Allen. 1979. *Canthigaster leoparda* a new sharpnose pufferfish (Teleostei: Tetraodontidae) from the central Indo-Pacific. Rev. Fr. Aquariol., 6: 87-90.  
Matsuura, K. 1986. A new sharpnose pufferfish, *Canthigaster flavoreticulata*, collected from the South Pacific. Japan. J. Ichthyol., 33(3): 223-224.  
Randall, J. E. and A. Cea Egana. 1989. *Canthigaster cyanetron* a new toby (Teleostei: Tetraodontidae) from Easter Island. Rev. Fr. Aquariol., 15: 93-96.

(Received December 5, 1991; accepted May 2, 1992)